

陳 情 文 書 表

受理番号	29第6号	受理年月日	平成29年2月9日
陳 情 者			
件 名	区政に関する陳情		
<p>【陳情の趣旨】</p> <p>区及び施設運営者が区民にとって有益である施設の提供を目的とし、施設建設、整備運営をするよう、区議会から区へ細部具体的に要請してください。</p> <p>① 障害を持つ区民（高齢者含む）でも使用しやすい設計にする。</p> <p>健全者から見た思い込みや、一部の障害者だけに有効な設計にならないよう、広く障害を持つ区民、虚弱体質等の高齢者等の意見をきき、設計、改修する。そのために広く意見を聞くアウトリーチと、それを区民をまじえて検討する機会を建築前、使用中も定期的に区民に呼びかけ設ける。</p> <p>その内容は、区がすでに決定したものを単に「ご理解下さい。」と区民におしつけるのではなく、実際に使用する側の身になって疑似体験でも行いながら行っていく。び調整も建設後可能なように柔軟性をもたせる。ということが必要ですので、区議会の皆さんも具体的に区に要請ができるよう、疑似体験や障害を持つ方の介助をするなどして不備な点、必要事項を細部までご理解した上で区に要請してください。</p> <p>② めぐるパーシモンホール、（厚生中央病院）、めぐろ区民センターは、区民にとって重要な施設ですが、交通が不便です。</p> <p>上記の施設のみでなく、目黒郵便局、共済病院、都医療センター、区役所、さくらプラザ、守屋図書館、本町社会教育館等を結ぶ、福祉車輛の運行を開始するよう区議会から区へ要請して下さい。</p> <p>施設開館時間中は夜間でも運行するよう要請して下さい。</p> <p>ドライバーはボランティアの方でも良いとは思いますが、全く介助をしないという現在のハンディキャブのような内容では危険ですので、介助はできる乗務員のとう乗をするよう要請してください。</p> <p>利用者は、障害（虚弱含む）区民優先できるように要請して下さい。</p> <p>③ 調整、運営は、区と施設運営者と区民との協働で行えるように要請してください。</p> <p>現状、連携が区と施設運営者側とほとんどなく、意見も通りません。現状、施設運営者（めぐろパーシモンホール）主催のイベント参加型ではハンデのある者を排除する傾向が強く、昨年交渉の末、朗読パフォーマンスに参加し好評を博しました。排除ではなく、ハンデのある方も参加できるイベントを多く企画すべきなので、そのように要請してください。</p> <p>多機能トイレ、車椅子の不備、AEDを運営者側が知らないということがあります。（私が中目黒GTで心臓発作者にAEDを利用した時の体験です。）</p>			

多機能トイレ、車椅子（壊れているものをそのまま参加者に使う）、いつでも障害者が使いやすく整備する。トイレは健常者が長々使っていることが多い。多機能車椅子があいアイ館にあるのですが、めぐろパーシモンホール利用者に貸し出し不可なので、貸し出せるよう連携がとれるよう要請してください。

- ④ めぐろパーシモンホール主催区民参加型イベントは、区民より他住民が優先される傾向があります。区民が最優先して参加しやすいようスケジュール等も含めてお願いします。

【陳情事項】

区税を活用し建設・運営（一部含む）の施設の建設前の設計、建築後のリフォーム改修と整備、運営の方法は、区民に有効となるよう区民の意見を反映したものでなければならぬが、現状不備な点が多い。その不備を改善する必要があるが、一区民の意見が正式に受理され検討されるシステムがない。よって、その改善策を上記の事項を陳情します。